

3

動植物に係る調査結果

3-1

陸生動物

3-1-1 動物相（鳥類相）

最終処分場が供用を開始したことを受け、昨年度より最終処分場区域周辺において動物相（鳥類相）の調査を実施しています。今年度は2年目の調査であることから評価書の事後調査計画に示したとおり春季（平成26年5月23日）に実施しました。

調査の結果、キジ、キジバト、ホトトギス等6目18科21種を確認しました。

今回確認した種を、昨年度の春季に実施した結果と比較すると、確認種数は昨年の17種に対して増加していますが、里山環境を反映した種構成に大きな違いはみられませんでした。また、個体数では昨年の59個体（2ルートの合計）に対し今回は128個体と大幅に増えていますが、これは確認種数が増えたことと、ハシブトガラスを多く確認（39個体）したことによるものです。

今後は平成27年度、平成29年度の春季にそれぞれ調査を実施し、今回と同様、出現種の種構成や確認個体数を比較していく予定です。

3-1-2 特筆すべき動物

特筆すべき動物の調査はいずれも最終処分場区域内及びその周辺で実施し、結果は表3-1に示したとおりです。

表3-1(1) 特筆すべき動物の調査対象種、調査時期及び調査結果

分 類	種 名	調査時期	調査結果
鳥 類	チュウサギ	平成26年5月22日	確認できませんでした
	オオタカ ハイタカ	平成26年4月11日	最終処分場北東側区域外を東方向へ飛翔するオオタカ1個体と、南方向から北方向へ飛翔するオオタカ1個体の計2例を確認しました
		平成27年1月20日	処分場西側上空を北から南方向へ、その後西方向へ飛翔するハイタカ1個体を確認しました
		平成27年2月10日	最終処分場中央部上空をカラスに追尾され飛翔しているハイタカ1個体を確認しました
		平成27年3月5日	確認できませんでした
	フクロウ	平成26年4月22日	確認できませんでした
		平成27年1月28日	確認できませんでした
		平成27年2月24日	確認できませんでした
		平成27年3月10日	最終処分場北側の樹林で、鳴き声を2例確認しました

表 3-1 (2) 特筆すべき動物の調査対象種、調査時期及び調査結果

分 類	種 名	調査時期	調査結果
鳥 類	サンショウクイ	平成 26 年 5 月 22 日	確認できませんでした
	コチドリ		5 月の鳥類相調査時に、最終処分場東側の境界付近で 1 個体、最終処分場の調整池東側の裸地で 2 個体を確認しました
	キビタキ		4 月のオオタカ等調査時に、最終処分場北側残置森林内で 1 個体を確認しました
	タゲリ	平成 26 年 12 月 17 日	確認できませんでした
両生類	アカハライモリ	平成 26 年 8 月 6 日	確認できませんでした
爬虫類	ニホンイシガメ		確認できませんでした
昆虫類	ムカシヤンマ	平成 26 年 5 月 28 日	確認できませんでした
	オオクワガタ	平成 26 年 7 月 31 日 平成 26 年 8 月 20 日	確認できませんでした
	ミカドガガンボ		確認できませんでした
	アオメアブ		最終処分場東側で 1 個体確認しました
クモ類	コガネグモ		処分場調整池付近で 2 個体確認しました
	アシナガカニグモ		確認できませんでした

3-2

水生生物

3-2-1 特筆すべき水生生物

特筆すべき水生生物の調査は最終処分場区域内及びその周辺の 7 地点で実施し、結果は表 3-2 に示したとおりです。

表 3-2 特筆すべき水生生物の調査対象種、調査時期及び調査結果

種 名	調査時期	調査結果
ヒラマキミズマイマイ	平成 26 年 7 月 7 日	1 ヶ所で生息を確認しました
ヒラマキガイモドキ		1 ヶ所で生息を確認しました
ナガオカモノアラガイ		3 ヶ所で生息を確認しました
マシジミ		6 ヶ所で生息を確認しました
ドブシジミ		2 ヶ所で生息を確認しました
コオイムシ		確認できませんでした

3-2-2 水生生物（淡水魚類）

最終処分場区域内を流れる天白川（P. 1、P. 2、P. 3 の調査地点）において淡水魚類調査を平成 26 年 5 月 14 日（春季）、8 月 6 日（夏季）、11 月 5 日（秋季）、平成 27 年 2 月 4 日（冬季）に実施し、結果は表 3-3 に示したとおりです。

今回の調査結果を昨年度（表 3-4 参照）の結果と比較すると、出現種数では今年度は 7 種と昨年度同じでしたが、昨年度確認したギンブナは今回確認されず、メダカを新たに確認しました。

また、確認個体数は、昨年度よりやや少ない状況でした。

表 3-3(1) 淡水魚類調査結果（平成 26 年度）

調査方法	種 名	春季 (H26. 5. 14)			夏季 (H26. 8. 6)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	カワムツ	捕獲なし			7	捕獲なし	
	カワヨシノボリ						1
	種 数				1		1
	個体数				7		1
セルビン	タモロコ	捕獲なし			捕獲なし		3
	種 数						1
	個体数						3
タモ網	オイカワ	○	○	○	捕獲なし		○
	カワムツ			○			
	タモロコ		○	○			○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	ドジョウ		○				
	種 数	2	4	4	1	1	3

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のための確認とした。

表 3-3(2) 淡水魚類調査結果（平成 26 年度）

調査方法	種 名	秋季 (H26. 11. 5)			冬季 (H27. 2. 4)		
		調査地点			調査地点		
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	タモロコ	捕獲なし		2	捕獲なし		
	種 数			1			
	個体数			2			
セルビン		捕獲なし			捕獲なし		
タモ網	オイカワ		○			○	
	カワムツ	○					○
	モツゴ			○			
	タモロコ			○			○
	メダカ						○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	2	3	1	2	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のための確認とした。

表 3-4(1) 淡水魚類調査結果（参考：平成 25 年度）

調査方法	種 名	春季(H25. 5. 15)			夏季(H25. 8. 7)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	オイカワ	捕獲なし	2	捕獲なし	捕獲なし		
	モツゴ						1
	タモロコ						5
	カワヨシノボリ		1				
	種 数		2				2
	個体数		3				6
セルビン	オイカワ	捕獲なし		1	捕獲なし		
	タモロコ						9
	種 数		1	1			
	個体数		1	9			
タモ網	ギンブナ	捕獲なし					○
	オイカワ		○	○		○	○
	カワムツ		○				
	タモロコ		○			○	○
	ドジョウ						○
	カワヨシノボリ		○	○	○	○	○
	種 数		4	2	1	3	5

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-4(2) 淡水魚類調査結果（参考：平成 25 年度）

調査方法	種 名	秋季(H25. 11. 5)			冬季(H26. 2. 5)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	オイカワ	捕獲なし	1	捕獲なし	捕獲なし	捕獲なし	6
	種 数		1				1
	個体数		1				6
セルビン	オイカワ	捕獲なし	捕獲なし		捕獲なし	捕獲なし	1
	カワムツ			3			
	種 数			1			1
	個体数			3			1
タモ網	オイカワ		○		○	○	○
	カワムツ		○	○			○
	タモロコ					○	○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	1	3	2	2	3	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

3-3-1 植物相

最終処分場の供用に伴い、最終処分場区域内に回復緑地として整備した緑地の状況及び残存緑地とした区域の樹林の状況を把握するため、平成 26 年 8 月 14 日に調査を実施しました。

本調査は施設供用後より事業の実施期間中、継続して監視するもので、今回は 2 回目になります。

その結果、回復緑地については、概ね生育状態は良好でした。また、残存緑地についても良好な状況であり、次年度以降も継続してその変化を監視していくこととします。

3-3-2 特筆すべき植物

平成 21 年度に移植した特筆すべき植物について、移植 5 年後の活着確認調査を実施しました。調査はいずれも最終処分場区域内の移植地で実施し、結果は表 3-5 に示したとおりです。

カラタチバナは、2 ヶ所の移植地のうち、1 ヶ所の移植地では移植した 5 個体全ての個体が確認できませんでした。もう 1 ヶ所の移植地では 4 個体を確認しました。なお、本移植地には当初 3 個体移植をしましたが、実生から生育したものと考えられる 1 個体が増加しております。

ササユリ、アキザキヤツシロランは前回（移植 3 年後）に続き生育を確認できませんでした。

ギンランは 1 ヶ所の移植地で 1 個体を確認しました。

ミズワラビ・ミズマツバ・シソクサの 3 種については、これまでは仮移植の状態でしたが、本移植先である最終処分場区域内の調整池が完成したことから、4 月 30 日に施設内の調整池への本移植を行いました。その後、6 月 4 日に移植 1 ヶ月後の活着確認を、8 月 14 日に移植 3 ヶ月後の活着確認を、平成 27 年 1 月 30 日に移植後 6 ヶ月後の活着確認を行いました。いずれも生育の確認はできませんでした。これらについては、仮移植時には確認された時もあることから、環境が整えば生育が確認されるものと考えられます。

表 3-5 特筆すべき植物の調査概要

種 名	調査時期	調査内容	調査結果
カラタチバナ	平成 26 年 4 月 22 日	移植 5 年後 活着確認	4 個体の生育を確認しました
ササユリ	平成 26 年 4 月 22 日 平成 26 年 6 月 4 日		生育の確認はできませんでした
ギンラン	平成 26 年 4 月 22 日 平成 26 年 6 月 4 日		生育の確認はできませんでした 1 個体の生育を確認しました
アキザキヤツシロラン	平成 26 年 4 月 22 日 平成 26 年 6 月 4 日		生育の確認はできませんでした
ミズワラビ ミズマツバ シソクサ	平成 26 年 4 月 30 日	本移植作業	いずれの種も生育の確認はできませんでした
ミズワラビ ミズマツバ シソクサ	平成 26 年 6 月 4 日	移植 1 ヶ月後 活着確認	いずれの種も生育の確認はできませんでした
ミズワラビ ミズマツバ シソクサ	平成 26 年 8 月 14 日	移植 3 ヶ月後 活着確認	いずれの種も生育の確認はできませんでした
ミズワラビ ミズマツバ シソクサ	平成 27 年 1 月 30 日	移植 6 ヶ月後 活着確認	いずれの種も生育の確認はできませんでした

4

調査地点

本あらましに示した調査項目の調査地点について、主なものを以下に示しました。

最終処分場供用後に係る大気質・悪臭の調査地点は図 4-1 に、環境騒音・振動の調査地点は図 4-2 に、河川水の調査地点は図 4-3 に、地下水（モニター井戸・処分場地下水集排水）の調査地点は図 4-4 に、浸出処理水の調査地点は図 4-5 に、動植物に係る調査のうち、動物相（鳥類相）の踏査ルートは図 4-6 に、特筆すべき動物の調査地点及び調査範囲は図 4-7 に、特筆すべき水生生物の調査地点は図 4-8 に、淡水魚類の調査地点は図 4-9 に、植物相の調査地点は図 4-10 に示したとおりです。